

あたまの もじを ヒントに かこう ④

2～3ねんせい／ひびきの ことばを じぶんで かいてみよう

なまえ _____

ひづけ _____

- ・あたまの もじと ますの かずを ヒントに、()に はいる ことばを じぶんで かきましょう。
- ・はいいろの ますは あたまの もじ。のこりの ますに ひらがなで かきます。
- ・ちいさい「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」も ひとつの ますに かきます。

れい

あめが (ざあざあ) ふって います。

ざ

→ あたまの 「ざ」と ますの かず(よっつ)から、「ざあざあ」と かく。

- (1) のどが かわいて、みずを () のみました。

ご

- (2) はっぴょうかいの まえで、むねが () して います。

ど

- (3) くちを とじて、ごはんを () たべて います。

も

- (4) ながい みちを はしりすぎて、からだは () になりました。

へ

- (5) しかられて、() して います。

し

- (6) あした えんそくなので、() して ねむれません。

わ



ぶんの なかの まちがいさがし ⑤

2～3ねんせい／ようすに あわない ことばを なおそう

なまえ _____

ひづけ _____

- ・ぶんの ひびきの ことばの うち、ようすに あわない ことばを ○で かこもう。
- ・ことばはこの ことばで なおして、□に かきましょう。
- ・おなじ ことばは ふたつの もんだいに つかえません。

ことばばこ

ぴかぴか

ぐらぐら

きよろきよろ

ぺこぺこ

ぐっすり

ぶるぶる

れい

そらに ほしが **どろどろ** ひかって います。

→ ただしい ことば: **きらきら** (この れいの ことばは、ことばばこに ありません)

- (1) ふとんに はいると、ぽかぽか して きました。

そのまま、ちっとも おきずに ペこペこ ねむりました。

ただしい ことば

--	--	--	--

- (2) ゆきが ひらひら おちて きました。

さむくて、からだ が ぐっすり ふるえました。

ただしい ことば

--	--	--	--

- (3) つくえの うえの ごはんは ほかほか ゆげが たって います。

おなかが ぴかぴか なので、はやく たべたいです。

ただしい ことば

--	--	--	--

- (4) くつの よごれを ごしごし こすって おとしました。

きれいに なって、くつが ぐらぐら ひかって います。

ただしい ことば

--	--	--	--

- (5) ほんが ばらばら ちらかって います。

じしんで たなが ぽかぽか ゆれて、こわかったです。

ただしい ことば

--	--	--	--



あたまの もじを ヒントに かこう ④【こたえ】

なまえ _____

2～3ねんせい／ひびきの ことばを じぶんで かいてみよう

ひづけ _____

こたえの みかた

あかい じが こたえ。はいいろの ますは あたまの もじ(はじめてから かいて ある)。

- (1) のどが かわいて、みずを (ごくごく) のみました。

ご く ご く

『のどが かわいて』いきおいよく のむ ようす。

- (2) はっぴょうかいの まえで、おねが (ときどき) して います。

ど き ど き

『おねが』うごく ように きんちようする ようす。

- (3) くちを とじて、ごはんを (もぐもぐ) たべて います。

も ぐ も ぐ

『くちを とじて』かむ ようす。

- (4) ながい みちを はしりすぎて、からだ (へとへと) に なりました。

へ と へ と

『はしりすぎて』ちからが でない ようす。

- (5) しかられて、(しょんぼり) して います。

し よ ん ぼ り

『しかられて』げんきが なくなった ようす。

- (6) あした えんそくなので、(わくわく) して ねむれません。

わ く わ く

『あした えんそく』が たのしみな きもち。

おうちの方へ：頭の1字とマスの数がヒントです。思い出せないときは、答えを教える前に「この様子はどんな音で言う？」と動きをまねてみてください。カタカナで書いても正解にして構いません（例：ドキドキ）。

ぶんの なかの まちがいさがし ⑤【こたえ】

2～3ねんせい／ようすに あわない ことばを なおそう

なまえ _____

ひづけ _____

こたえの みかた

あかい わが ずれた ことば。あかい じが ただしい ことば。

(1) ふとんに はいると、ぽかぽか して きました。

そのまま、ちっとも おきずに **ぺこぺこ** ねむりました。

ただしい ことば

ぐ っ す り

『ちっとも おきずに』は ふかく ねむる ようす。

(2) ゆきが ひらひら おちて きました。

さむくて、からだが **ぐっすり** ふるえました。

ただしい ことば

ぶ る ぶ る

『さむくて ふるえる』ようすを あらわす ことば。

(3) つくえの うえの ごはんは ほかほか ゆげが たって います。

おなかが **ぴかぴか** なので、はやく たべたいです。

ただしい ことば

ぺ こ ペ こ

『はやく たべたい』は おなかが すいた ようす。

(4) くつの よごれを ごしごし こすって おとしました。

きれいに なって、くつが **ぐらぐら** ひかって います。

ただしい ことば

ぴ か ぴ か

『ひかって います』はきれいに ひかる ようす。

(5) ほんが ばらばら ちらかって います。

じしんで たなが **ぽかぽか** ゆれて、こわかったです。

ただしい ことば

ぐ ら ぐ ら

『じしん』で ゆれる ようすを あらわす ことば。

おうちの方へ：2つの言葉のうち、場面の手がかり（「さむくて」「ゆげが」など）に合わないものを見つける問題です。ことばはこの言葉は1回ずつ使います。迷ったときは、手がかりの言葉に線を引いて確かめてください。